

## (22) 高齢期の所得水準

- 高齢者世帯の収入の内訳を見た場合、公的年金が7割以上を占めている。
- 高齢者の年間所得の分布を見た場合、年間所得「300万円未満」の世帯の割合は、全世帯では約3割であるのに対し、高齢者世帯では6割を占めており、低所得世帯の割合が高くなっている。

### ○高齢者世帯の所得の内訳

区分	平均所得金額		
	一世帯当たり	世帯人員一人当たり(平均世帯人員)	
高齢者世帯	総所得	301.9万円	197.3万円 (1.53)
	稼働所得	54.5万円 (18.0%)	
	公的年金・恩給	211.9万円 (70.2%)	
	財産所得	15.7万円 (5.2%)	
	年金以外の社会保障給付金	2.5万円 (0.8%)	
	仕送り・その他所得	17.2万円 (5.7%)	
全世帯	563.8万円	212.8万円 (2.65)	

資料：厚生労働省「平成18年国民生活基礎調査」(同調査における平成17年1年間の所得)

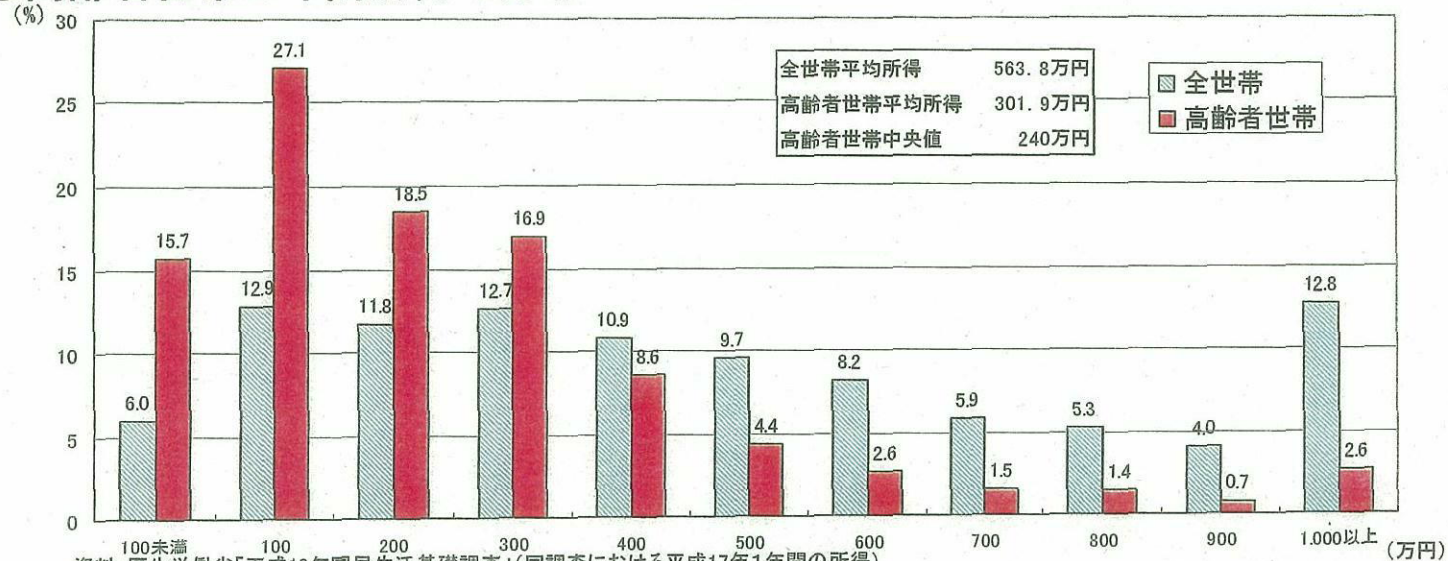
注1：高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯をいう。

注2：財産所得とは以下のものをいう。

ア 家賃・地代の取得：世帯員の所有する土地・家屋を貸すことによって生じた収入(現物給付を含む。)から必要経費を差し引いた金額

イ 利子・配当金：世帯員の所有する預貯金、公社債、株式などによって生じた利子・配当金から必要経費を差し引いた金額

### ○高齢者世帯の年間所得の分布



資料：厚生労働省「平成18年国民生活基礎調査」(同調査における平成17年1年間の所得)

注1：高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯をいう。